

会 議 録

1 会議名

令和3年度第5回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

○ 地域協議会会長会議について

(2) 協議事項（公開）

① 「町内会長と地域協議会委員との意見交換会」の振り返り

② 自主的審議のテーマについて

3 開催日時

令和4年1月24日（月）午後6時30分から午後7時46分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：秋山 茂、飯塚幸太郎（副会長）、井澤 愛、金井 正、小玉朋子、杉田榮作、千町健実、高野ゆかり、塚田仁子（副会長）、船崎 聡（会長）、本城敏男、三浦正郎、横山明夫（欠席1人）

・事務局：中部まちづくりセンター：小林センター長、藤井係長

8 発言の内容

【藤井係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【船崎会長】

- ・ 会議録の確認者：横山委員

次第 2 議題「(1) 報告事項」の「地域協議会会長会議について」に入る。事務局より説明を求める。

【小林センター長】

- ・ 資料 1-1・1-2・1-3 に基づき説明

【船崎会長】

自分も地域協議会会長会議に出席した。市長の意見としては、地域分権ということで、地域独自の特色ある活動を行うための予算を配分するということである。

会長会議で自分は市長に向けて、「地域独自予算」という考えはよいが、それを行うためしっかりとした人材の確保等をしなければ、これまでと同じようになってしまうと発言した。それに対して市長は、人材確保が非常に難しいと言っていた。「言うは易し、行うは難し」ということで、どこまでできるのかと思っている。

やはり各区独自のものがある。新道区には新道区独自の悩みというか、解決しなければいけない課題があるため、それについて自主的審議を行い、市に提案することも重要だと思っている。

市長としては、令和 4 年度は地域活動支援事業を行うとしている。ただし、地域協議会が審査等を行うのではなく、あくまでも市で精査をして行うとしている。ただし、各区の審査基準等があるため、それらを踏まえて審査を行うことになる。

新道区地域協議会としての考えを整理していきたいと思う。簡単に言うと、地域活動支援事業の審査等を市に任せるのか、または地域協議会で行うのかの、どちらかということである。

事務局の説明に質疑を求める。

【秋山委員】

実施に関する考え方は、自分はこれでよいと思う。ただ、資料1-3の質問の回答にもあるように、新道区独自の問題等があるため、どうしても市で審査ができないなど問題があるようであれば、地域協議会に依頼し審査を行ってもよい。Q4にも記載があるようなやり方でもよい。

【船崎会長】

解決できないものについては、地域協議会で審査等を行うということでもよい。

【秋山委員】

そうである。

【金井委員】

審査等は市に任せたほうがよい。

地域協議会に与えられた使命は自主的審議をきちんと行うことであり、それを全うすることがよいと思っている。次につなげるための、自主的審議のトレーニングにもなると思う。レッスンをしていかなければ、最終的な目標は掴めない。市長も地域活性化を目標に掲げている。それをどのように評価するのかということだと思う。そういったことも含めて、市で審査等を行ったほうがよいと思う。

これまでの提案事業によって地域がどのように活性化したのか、効果が全く見えていないため、自分はよく分からない。それであれば、自主的審議に集中したい。

【船崎会長】

新道区にはいろいろな課題があるため、それらについて深く掘り下げて審議したほうがよいということだと思う。他に意見等あるか。

(発言なし)

新道区地域協議会では、資料1-3の考え方に基づき、市が審査を行う見直し(案)を承認するのか、または、引き続き地域協議会で支援事業の審査を行うこととするのかについて、採決する。

まず、市に任せることに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

採決の結果、令和4年度の地域活動支援事業の審査は、市において行うことに決した。

では、事務局より令和4年度の募集と審査について説明を求める。

【藤井係長】

今ほど、令和4年度の地域活動新事業の審査は、市で行うことを確認いただいた。

審査の方法については、先ほどの説明にあったように、令和3年度と同様の採択方針や審査の仕方等を基本としながら進めていくこととする。どうしても判断に迷うことがあった際には、正副会長に相談の上、必要に応じて地域協議会の意見を確認することも選択肢としたいと思っている。

次に、地域活動支援事業の事前説明会についてである。昨年度については、正副会長に出席していただき開催した。今年度についても、同様の取り扱いとしてよいか。

また、令和4年度の予算成立後の話になるが、募集期間について、事務局としては、「4月1日（金）から25日（月）」の期間で募集してはどうかと考えている。これは昨年度の日数プラス2日ということになる。

これらについて確認願う。

【船崎会長】

今の説明について、意見を求める。

（発言なし）

令和4年度の募集や審査、事前説明会について、令和3年度と同様としてよいか。また募集期間については、「4月1日（金）から25日（月）」の25日間としてよいか。

（よしの声）

以上で次第2 議題「(1) 報告事項」の「地域協議会会長会議について」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 協議事項」の「① 町内会長との意見交換会に振り返り」に入る。

【藤井係長】

自主的審議に入る前に、今後の意見交換会等の開催の参考とするため、12月に開催した意見交換会を振り返り、開催準備や会の進め方等について課題があれば、ご意見をいただきたい。委員が感じたことを聞かせてほしい。

【船崎会長】

今の説明について、意見を求める。

（発言なし）

以上で次第2 議題「(2) 協議事項」の「① 町内会長との意見交換会に振り返り」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 協議事項」の「② 自主的審議のテーマについて」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・参考資料、資料2に基づき説明

【船崎会長】

今の説明に質疑を求める。

（発言なし）

新道区の審議テーマについて、意見を求めたいと思う。

資料2では、合計9つの項目が挙げられている。いずれも「地域の課題」であると考え
るが、現実的に、いくつものテーマを同時に審議することは難しいため、優先すべき
ものから着手したいと考える。

については、この9つの項目の中で、まず何から手を付ければよいか、その項目につい
て、理由とともに意見を求める。

【千町委員】

優先順位でよいか。

【船崎会長】

よい。

基本的には、地域協議会独自で取り組むわけではなく、関係する町内会や様々な団
体等と連携して取り組んでいかなければならない問題だと思う。そういったことを踏
まえ、まずは何から手を付けていくのか、新道地区としての大きな課題が何であるか
を考えた意見を求めたい。

こちらより指名していく。先ほど発言のあった千町委員より発言を求める。

【千町委員】

地域協議会で検討する場合の優先順位でいうと、自分は町内会長も務めているため、
「まちの活力の維持・向上」の「町内会活動など」や「地域住民等によるまちづくり」
も必要である。

自分が1番問題だと思うのは、「災害等による被害の防止・軽減」の「水害」である。

資料2に「大雨のたびに道路冠水などのおそれがある（北部）」とあるが、これは南
部が発言したことである。

令和元年10月12日・13日の台風19号による古川用水路、樋門管理、町内の被害状況
等を、この2日間の経過や実際の対応を踏まえ、1町内だけでなく新道地区として市に
陳情してはどうかという話になった。当時の国会議員、県議会議員、市議会議員に相
談し、実際に、新道地区町内会長協議会の三役と鴨島2・3丁目で陳情した。

手順2の欄には、「大雨により関川が増水した場合、雨水が溜まって冠水が発生する」
とあり、その対策として「市が鴨島に大型排水ポンプを設置した」とあるが、これは
その際に陳情した内容とは違うものである。

個人的には、水害関係をテーマとするのが、優先順位から考えた場合によいのでは
ないかと思う。

また、空き家の問題もある。町内としてもなかなか大変で、倒壊寸前になるまで管理できない空き家もある。

昨年の12月にシルバー人材センターを会場に、市建築住宅課の講習会があった。その講習会に出るつもりで行ったが、十数人しか募集していないところ80人の応募があって参加できなかった。

町内会長と地域協議会委員の役割が重なる中で、自分の優先順位としては「町内会活動など」「水害」「空き家」などをテーマに話し合っただけであればよいと思う。

すべて大事な課題であると思うが。

【船崎会長】

秋山委員から順番に、1人ずつ意見を聞いていく。

【秋山委員】

自分も、千町委員の発言のとおりだと思っていた。

「まちの活力の維持・向上」の「町内会活動など」にも記載があるように、新道地区中部では消防団の人員確保が非常に大変で、町内会が困っている。これは新道地区南部でも同様である。これは消防団に限った話ではない。

また、最近交流がない。資料にもあるように、中部・南部・北部と地理的に細長く、コロナ禍ということもありイベント等を行うことができない状況ではあるが、以前のように何とか交流ができればと思っている。こういったことを審議したほうがよいと思う。

あとは「水害」である。鴨島2丁目・3丁目辺りでも、雨が降るとたびたび水害があるため、その辺を重点的に審議してはどうかと思っている。

【井澤委員】

自分も「災害対策について」を1番に考えてほしいと思っている。親としては、「通学路の安全確保」「子育て環境の充実」も大事だと思っていたのだが、最近災害が多く起きている。そのため、1番考えてほしいことだと思っている。

【金井委員】

自分は考え方が突飛な部分があるが、大きな論点でいうと「災害」だと思う。

先般の意見交換会に出席して感じたことである。「土手が崩れる」や「草を刈りたい」といった話が出ていたが、地域協議会から補助金を出す本当の目的は、やはり「地域活性化」だと思う。

以前にも発言したように、住民の生命財産を守ることは第一ではあるのだが、地域協議会で審議するには、何か方向が違うような気がしている。

「活性化するためにどうするか」ということで、資料2でいうと自分は「町内会」や「子ども」の問題を優先したいが、評価をどうするのか。評価というか、目標だと思うが、地域活性化の目標がどこにあるのかということが、全然見えていない。

下世話な話になると、例えば、税金が多くなった、人口が増えた等にも繋がってくると思うが、市長の話もすべてぼやけており、最終目標がない。「上越市を30万人の都市にする」といった漠然とした目標でもあればよいが、それもない。

次に、こういった補助金を活用するためには、「どこの何を直す」といったことではなく、もう少し次元の高い話をしたほうがよい気はしている。

とりあえず、自分は町内会と、未来へつなぐ子どもの関係を優先したいと思っている。

【小玉委員】

自分は町内会長との意見交換会に参加できなかったため、資料で確認した。

自分も親の立場としては、「子育て環境の充実」を1番に考えてほしいとの思いもある。だが、井澤委員と同様に、水害もそうだが「災害」が大事だと思う。

自分の町内の避難所は富岡小学校になっているが、実際、水害等が起きた際には富岡小学校だけで足りるのかと思うところもある。そういった緊急時の避難場所等についても、よく考えていかなければならない。

【杉田委員】

非常に大事なことばかりだと思う。

だが、地域協議会が提案して、実現の可能性があるのかないのかなど、いろいろな雑談的な話から始めていけばよいのではないかと。

議題として、こういったことを考えてほしいということは分かったが、ここで決めるのか、または、もう少し先になってから決めるのか。今回はよい意見が出ない。

【高野委員】

自分は「通学路の安全確保」がよいと思う。道路が狭く、本当に通学が危険だと感じている。その他、以前に鴨島2丁目に住んでいた経験があるため、水害対策の必要性は感じている。

ただ、地域協議会委員になると分かった際、新道地域を本当に活性化したいとの思

いがあった。

春日区で行っている取組が素晴らしいと常々思っていた。地区が活性化して、とても楽しそうにしている姿を見ていたため、中学校単位・まちづくり協議会等のかたちはあると思うのだが、同じように新道地区としても行えるものはないのかと思い、地域協議会に参加したところがある。

そういったことを審議したいとの思いもあるが、目の前にある、本当に大切なことも確かにあるとは思っている。

自主的審議のテーマとしては、「通学路の安全確保」「災害等による被害の防止・軽減」、そして、できることであれば1番下に記載されているように「様々な特長」を活かして、何か活性化できることがあれば取り組みたい。

どこまでできるのかは分からないが、長期の時間をかけて取り組んでいきたいとの思いはある。

【本城委員】

自分も、何だか地域活動支援事業の審議がメインで、自主的審議が置いて行かれているような思いを持っていた。「水害」の関係については、やはり行っていかなければならないと思うが、できれば自主的審議のテーマについて、もう1度掘り下げて話し合ってみてはどうか。

【三浦委員】

「水害」に関連する避難所の関係は、安心して生活していく上で1番大事であり、もう少し力を入れていったほうがよい。

今は地震や、台風による集中豪雨等、非常に自然災害が多くなっている。自分が住む地域でも、大雨が降ると常に関川の水面を気にしている。町内単体としても同様であり、ここに力を入れて取り組んではどうかと思っている。

また、避難所の問題についても、避難所は本当に上雲寺小学校で大丈夫なのかとの思いが、頭に引っかかっている。

こういったことをもう少し地域協議会で審議して、よりよいかたちを作ることができればよい。そういった意味で、「災害等による被害の防止・軽減」を市に進めてもらいたい。

【横山委員】

趣旨から言うと、地域の活性化であろうと思っている。これが地域協議会の大きな

テーマだと、参加した当初は思っていた。

本来のあり方であれば、地域アンケート調査等で、地域住民が活性化に向けて何を本当に求めているのか。そういったものを地域協議会で審議して、課題を出し、それについて地域協議会の考えをまとめていく。

そういった場としてくことができればよかったのではないかと、今は思っている。

【船崎会長】

意見として多かったのは「災害」に関連したものであったように思う。

また「地域の活性化」との意見もあったが、この語句には、すべての取組が含まれてくると思う。「災害」「道路」の関係など、すべてだと思う。あまり詰め込み過ぎてしまうとよくないため、1つか2つ程度のテーマに絞りたい。

また、2人の委員より、すぐに自主的審議のテーマを決めるのではなく、もう少し深く考えて決めたほうがよいのではないかとの意見もあった。

昨年、一斉雪下ろしが行われた。対象地域は、稲田1丁目から4丁目までと、鴨島1丁目である。空き家の雪下ろしは、これまでは各町内で負担していたが、一斉雪下ろしについて、今年度から市が予算立てして支出することとされた。

自分はこの話を聞いて、例えば、一斉雪下ろしの対象ではない町内の空き家はどうかと思うのかと思い、市に話をしたこともある。また、現在ある空き家の所有者が放棄してしまえば、誰も手を出さない。新道地区、特に稲田方面は空き家が多く、非常に危ないと自分は思っている。

そのため、どれをテーマとすべきなのかと思っている。

例えば、「災害に対する対処」と一括りにすれば、水害・避難所・雪害等、すべて含めることができる。

他に、前期の地域協議会の自主的審議事項は、「公の施設」についてである。地区公民館等の整備について意見書を提出した。内容としては、「新道区の活性化」のため、地区公民館を中心に、カルチャースクールのようなものをきちんと開催できるように考えたものである。

新道地区には地区公民館しかない。だが現在の施設では簡単なカルチャースクールしかできない。芙蓉荘でも行ってはいるが、令和7年度に廃止され、地区公民館しかなくなってしまう。現状の地区公民館しかなければ、地域を活性化することはできないとの考えから、前期は意見書提出を行ったものである。

しかしながら、市の回答としては、「対応は無理」との回答であった。

できることであれば、個人的には市に「こういうことをしてほしい」といったことを強く提案したい。そうすれば、令和5年度あたりに新道地区に予算が配分される可能性も出てくると思う。

その他、堤防をしっかりと整備すれば、水害等の被害も緩和できると思う。それはつまり、「地域の活性化」と「災害」の2つをクリアできるということだと思っている。

【金井委員】

確かに、新道地区は水害が非常に多く、危険である。市内全体で見ると、同じように苦しんでいるところとしては、八千浦地区や有田地区などいろいろとある。

では、それらの地域が水害について何を考えているのかという意味で、令和2年度の地域活動支援事業の事例集を見ると、「水害からまちを守る」といったことは1つもない。

実際は「まちをどうしようか」ということを考え、「地域コミュニティを作る」等、いろいろなことを行っている。

多分、それらの水害がある地区の住人も非常に苦しんでいるはずである。そうした内容については予算もかかるため、地域協議会で処理するのではなく、陳情等、別のかたちで処理をしたほうがよいと思う。

本来の目的に戻って「地域を活性化するためにどうしたらよいのか」ということを、本当に真剣に考えなければ駄目だと思う。

【千町委員】

先ほど水害対策ということで発言したが、これは昨日・今日の問題ではないことは分かっている。

手順に沿って「地域協議委員のみで考えてみる」「調べる」、そして「話し合っ
てテーマを決める」ということだが、実現に向けてどうするのかということである。

やはり1つの例示としては、令和元年10月の台風19号であり、水害後の対応である。

もともと鴨島2丁目は水田であったということもあると思うが、農業用用水路があった。そして最終的な樋門が、鴨島2丁目の関川への用水路であったことから、令和元年の台風の際に、県議・市議、新道地区町内会長協議会の3役が集まり、相談して、「新道地区樋門整備促進に関する要望書」をまとめ、新道地区とし前市長に宛てて陳情したのが11月12日である。

そして、令和2年3月の議会で陳情した結果、市で7,000万円する大型ポンプ車の購入が決まった。去年8月に新しい消防署で大型ポンプ車のお披露目があり、新道地区の全町内会長が視察した経緯がある。

今いみじくも金井委員が発言したように、最終的には会議の中でどうの・こうのではなく、陳情も含めて、結果が出ないことには何のための会議だったのかということにもなるため、1つの参考例として話をした。

【船崎会長】

いろいろな意見が出た。

基本的には、新道地区の「まちの活性化」ということが大前提である。それを中心として、「災害」「まちづくり」といったいろいろなものが出てくるのだと思う。大きなテーマとしては、「新道地区の活性化」ということになると思う。

【小林センター長】

事務局より補足する。

自主的審議に専念するにあたって、テーマを決めることは非常に大事なところだと思う。

本日の話の中では、「防災について」という話が多かったが、2人の委員からは「決めかねる」といった意見もあった。大事なところを決める際は、できれば委員全員が同じ方向を向いた中で進めたほうがよいと思う。

事務局としては、本日この場でテーマを決めるのではなく、各自、本日の結果を持ち帰り、次回の協議会にてテーマを決めることもあり得る話だと思っている。

【船崎会長】

大きな前提として「新道地区の活性化」だと思う。まちづくり・活性化・維持といったものが大きなテーマになると思う。

その中で、もう少し掘り下げて行くことになると思うため、事務局より提案のあった進め方としてよいか。

(よしの声)

では、次回までに各自、本日の結果を踏まえて、改めて考えてきてほしい。

以上で次第2議題「(2) 協議事項」の「② 自主的審議のテーマについて」を終了する。

次に次第2 議題「(3) その他」に入る。

本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

以上で「(3) その他」を終了する。

最後に、次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。事務局に説明を求める。

【藤井係長】

・次回の協議会について説明

【船崎会長】

－ 日程調整 －

【千町委員】

事務局の都合もあると思うが、開始時間をもう少し早めることはできるか。

【藤井係長】

委員が問題なければ大丈夫である。

【船崎会長】

開始時間について、どう思うか。少し早めて、6時開始としてもよいか。

【塚田副会長】

仕事の都合もあるかと思う。

【船崎会長】

どうするか。1度、6時開始としてみてもよいか。

(よしの声)

- ・次回の協議会：2月22日（火）午後6時 新道地区公民館 多目的ホール
- ・内容：自主的審議等
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。